

廃棄物処理を起点に、 環境創造企業として 進化してきました。

1979 — 1996

最終処分場延命化のため、 リサイクル施設を充実

1980年の最終処分場開設直後から事業の持続性を図るため、リサイクル事業にシフト。リサイクルコストへの理解が乏しく、事業環境は厳しい状況が続いた。

創業

1979年10月
大栄環境株式会社設立
1980年9月
管理型最終処分場開設

転機1

1995年1月
阪神・淡路大震災で
災害廃棄物処理に携わる
震災直後から地元業者と
して、多くの自治体からの
要請を受け、災害廃棄物処
理を実施

1997 第一次 成長期

1997 — 2013 リサイクルシステム 確立のための施設へ 集中投資

阪神・淡路大震災の際の処理実績を評価
いただき、自治体との取引を獲得。現在の
自治体との取引の多さにつながっている。

転機2

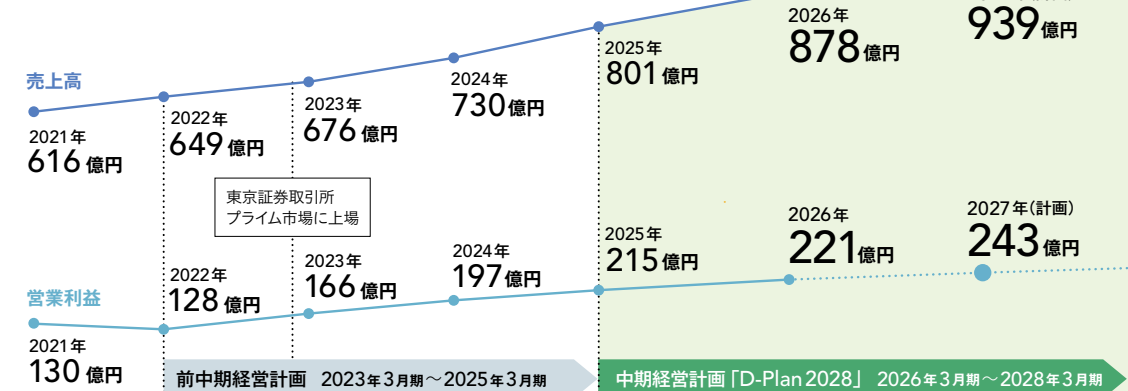
2013年9月
三重エネルギー
プラザ開設



2014 — 2018 環境創造企業への進化、 新たな価値創造の施策

1日当たり処理量636トンという大栄環
境グループ最大の焼却発電施設「三重エ
ネルギープラザ」開設以降、自治体との
取引増加が加速。

業績グラフ (グループ連結)



2019 — 2022

社会課題を解決するため ESG施策を推進

従業員が2,000人を超え、グループ会社
が32社となり、ガバナンス体制に危機感
を覚える。東証プライム市場への上場、
M&Aも積極的に行い、高い成長率を維持。

転機3

2022年12月
東証プライム市場上場
コーポレートガバナンス・コード
に沿った体制を構築することで、
ガバナンス体制を強化

2023 —

カーボンニュートラルへ 向けたリサイクルも 推進し、事業を拡大

自治体との取引のさらなる強化やカー
ボンニュートラルに向けたリサイクルの
推進に加え、M&Aも活用して事業の拡大
を図っている。

転機4

2023年5月
三木バイオマスファクトリー
稼働開始



脱炭素・資源循環を軸に、環境創造を次のステージへ

1979 創業期

ごみを資源に変える挑戦の始まり

社会課題解決を事業成長へ